



代表理事組合長

袴田 英明

すべての人に 健康と幸せを



新年、明けましておめでとうございます。

組合員、そしていつもJAをご利用頂いておられます地域の皆様へ、心から御礼を申し上げますとともに、皆様にとって新年が輝かしい年でありまますように切に願っております。

昨年を振り返ってみますと、特筆するべきことが二つございます。一つは、東日本大震災。そして、もう一つは、政府が関係各国との協議に入るとした、TPP（環太平洋経済連携協定）問題です。

3月11日に起きた未曾有の震災により、尊い生命や財産等々が失われ、ま

た地震による津波で福島県の福島第一原発で事故が起き、それに伴う放射能汚染の被害は甚大となっております。地域住民の避難や農作物への影響など、いまだ解決されていない課題が山積みとなっております、被災された方々の心に、大きな苦痛がのしかかっております。このような不幸な出来事に対し、私共JAグループは、「相互扶助」という農協の理念に立ち帰り、被災地の一日も早い復興を目指し、出来る限りの支援をしてまいります。

しかしそうした中で、昨年11月政府はTPPへの交渉参加に向け、関係各国との協議に入るという考えを明らかにしました。これは例外無く、全ての輸入品目の関税を撤廃するというのが原則であります。特に現在、米にかけられている77.8%の関税が撤廃されますと、日本の米は格安な外国産米との国際競争にはとても勝てるものではなく、他の品目についても同様のことが言えます。いくら貿易立国を目指すためとはいえ、これは国のあり方を変える一大事でありまますし、まして食料自給率50%をめざすといながら、国内農業をどのように守り育てるかの議論は後回しとなっている状況です。今後もJAグループはTPP参加に強く反対するとともに、政府に対し納得のいく説明を求めてまいります。

このような大問題が発生している中で、当JAの稲作は、夏場の高温やカメムシの大発生など、病害虫被害の発生により減収となった一昨年の反省に

謹んで新年のご挨拶を申し上げます

代表理事組合長

副組合長理事

常務理事

常務理事

常務理事

理事

理事

理事

理事

理事

袴田 英明

石山 金由

佐原 操

小林 義昌

坂本 和幸

中川 正一

金谷 隆夫

斉藤 幸蔵

佐々木 博子

齊藤 猛